

## 国際防災の日 スペシャルセッション

★ 同時通訳あり

**開催日時**

2018年10月13日(土) 14:00~15:30

**開催場所**

東京ビッグサイト会議棟7階 国際会議場

### 【プログラム】

**モデレーター：**

小池俊雄 水災害・リスクマネジメント国際センター(ICCHARM) センター長

**パネリスト：**

P.K. ミシュラ 首相府首席次官補(インド)

中村昭裕 内閣府審議官

グエンドリン・パン 国際赤十字・新月社 北東アジア事務所長(在北京)

近藤哲生 UNDP 駐日事務所代表

### セッション1：世界の「自助・共助」 「連携」

大規模災害に備えて、又は大規模災害に際し、世界では、どのような「自助・共助」と「連携」がおこなわれてきたか

### セッション2：「連携」を深める行動

- ・「自助・共助」の「連携」を深めるためには、何をすべきか。
- ・これまで、何が足りなかったのか

10月13日は、1989年12月の国際連合経済社会理事会決議により設けられた「国際防災の日」です。

世界では、様々な自然災害により、多くの人的・物的被害が生じています。

そのたびに、これまでも国際社会は連携し、災害による被害の軽減に対応し、復旧・復興に取り組んできました。

2015年に採択された「仙台防災枠組2015-2030」は、今後の国際社会での防災について、共通の理解を確認し、このなかでも、全てのステークホルダーによる連携、ガバナンスの重要性は、「優先行動2」のなかで謳われています。

「国際防災の日」スペシャルセッションでは、防災国大の共通テーマである「自助・共助」と全てのステークホルダーの連携について、国際社会ではどのような取組がなされているか、国際防災の最先端にいるトップリーダーの声と、参加者皆様の本音の意見を交換します。